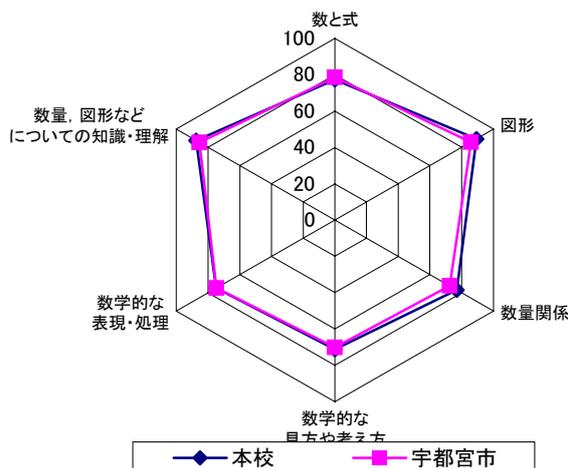


# 宇都宮市立上河内中学校第1学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	77.4	78.5
	図形	89.2	85.7
	数量関係	77.0	72.4
観点別	数学的な見方や考え方	71.2	70.2
	数学的な表現・処理	74.9	74.7
	数量、図形などについての知識・理解	87.5	85.4



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (77.4%)	・市と比較すると1.1ポイント下回っている。正の数・負の数の計算はおおむね満足できる状況である。文字式の内容でその計算や式の値を求めること、文字式の表し方の約束、方程式の計算、比例式などに課題が残っている。	・正負の数、文字式、方程式の計算を、反復練習をする時間を確保して、計算力を向上させる必要がある。文字を使った式の意味やその使い方の理解が不十分なので、再度確認させていきたい。
図形 (89.2%)	・市と比較すると3.5ポイント上回っている。平面図形についての理解はほぼ満足できる状況である。	・今後の図形の指導の基礎となる内容である。さらに定着を図るとともに、授業では、操作活動などを取り入れ、興味・関心を高め、2年生での図形の学習につなげていきたい。
数量関係 (77.0%)	・市と比較すると4.6ポイント上回っている。比例のグラフから比例定数を読み取る問題の正答率が市より約10ポイント低かったが、表から比例しているものを選ぶ問題、比例のグラフをかく問題については12ポイント高かった。比例反比例については比較的理解されていると思われる。	・変数の間の関係を表やグラフ、式、グラフに表すこと、さらに表、式、グラフの関係をしっかり理解できるようにする。身近な課題を取り上げ、表や関係の式、グラフをつくることで、実感をもって理解できるように指導していきたい。